

平成24年度帯広市男女共同参画セミナー

「笑っているあなたが 社会を変える！」

～豊かな経験を地域に活かそう～

NPO法人ファザーリング・ジャパン副代表（創設者）の安藤哲也氏を講師に迎え、2012年10月18日とかちプラザで帯広市男女共同参画セミナーが開催されました。その講演要旨を紹介します。

育てる男が社会を変える

近年、社会構造や経済状況、さらにライフスタイルなどの変化で、子どもを産み、育てることの難しさから、少子化が加速しています。30代の母親が第二子を産まない理由の第1位に挙げられているのが「夫の非協力」（厚労省調べ）です。旧来の男女の役割や働き方を見直し、ごく普通に男性が育児や家事に参加できる環境を作らなければなりません。そのためには、女性の社会進出を、地域や企業を含めて皆で応援し、安心して産み、育てられる社会にしていきたいものです。

共に働き、経済成長を！



先進諸国では、男性が育児参加する国ほど出生率は上がり、出産後も女性が就労する国ほど出生率が上がっています。その経済効果は、7兆円とも言われています。経済成長のためにも、働く女性の活躍を支えようではありませんか。それには、育児に参加したい男性には育児休業など取りやすくすべきです。子育てを共有することにより、子どもにとって良き父親であるとともに、夫婦にとってもパートナーシップが強まります。

父親が育児に関わる メリット

父親が育児に参加することによって、子どもの成長過程で言葉や社会性が早く身に付き子どもの良きモデルとなります。父親にとっては、アイデアが仕事に活きることもあり、自活力がつき、地域に友達も増え定年後から老後も安心。世界が広がり、人生も楽しいものとなります。



★ サンデーファミリーにお邪魔しました ★

帯広すずらん保育所では、日曜日に（毎月1回）保育所の広場を開放し、就学前のお子さんとその親で楽しく遊んでもらう「サンデーファミリー」を実施しています。参加しているパパたちにお話を伺い、昨今の「イクメン」事情を取材しました。



パパたちは、妻にばかりに育児の負担をかけることをよしとせず、「子育ては協力して共にしたい」と、自分にできる範囲のことを行っているようで、そこに育児の大変さを理解しているパパたちがいました。

最初は妻に誘われてきたパパも、「サンデーファミリー」に参加することによって、妻の育児によるストレスや悩みの解消になっている」ということや、「他の子どもたちと遊ぶ我が子の姿に成長を感じることが楽しみ」との意見が多く、継続して参加するようになる人が多いそうです。

厳しい社会状況の中で、仕事に疲れて帰宅するパパたちですが、育児に関わろうと奮闘しているその姿に拍手を送りたくくなりました。

育児は短い期間なので、大変でも

フレー、フレー、パパ！

